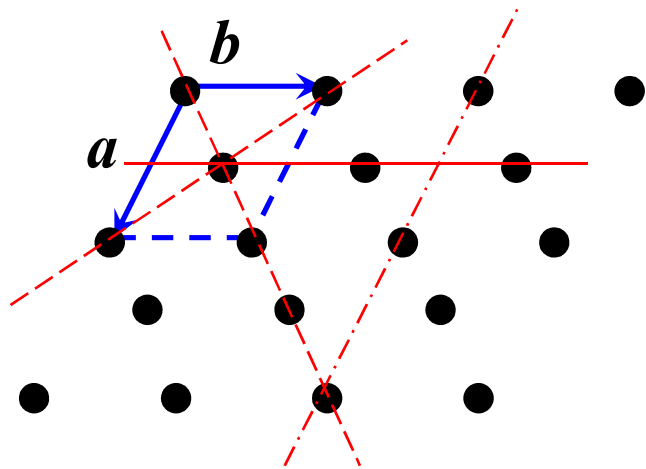
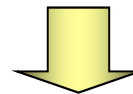


# 格子点を作る面

面心格子の場合



種々の格子面を見つけることができる  
これらをどのようにして区別するのか？



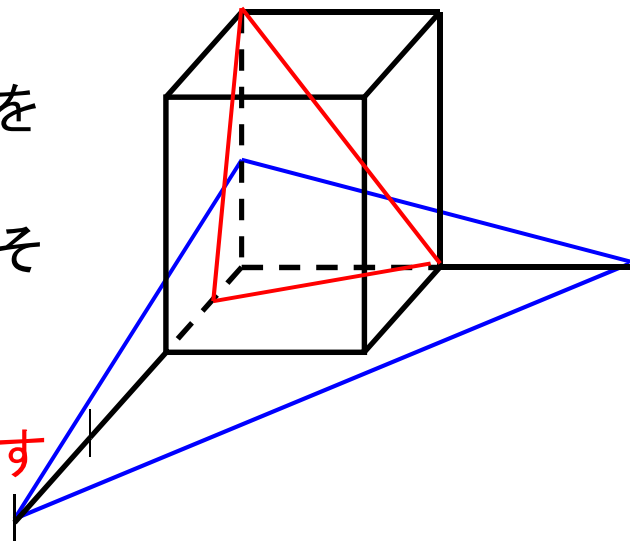
ミラー指数 (Miller Index)

( $hkl$ ): 3つの整数で表現

ミラー指数の求め方

1. 面が結晶軸  $a$ 、 $b$ 、 $c$  と交わる点を格子定数を単位として求める
2. 3の数の逆数をそれぞれとり、それと同じ比をもつ3つの整数の組に変換する

注意: 切片が  $\infty$  のときは  $1/\infty=0$  とする

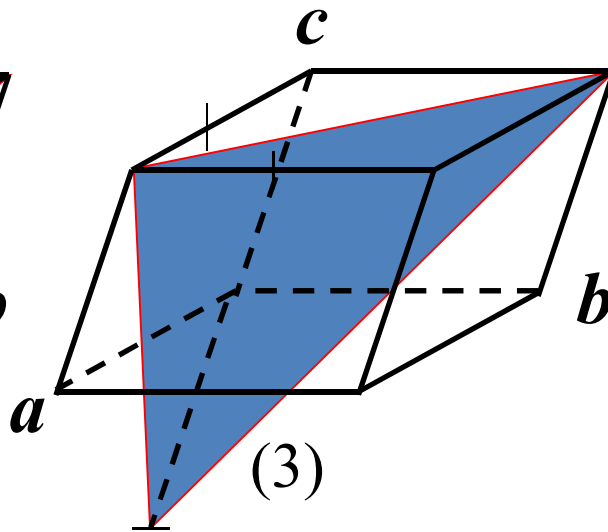
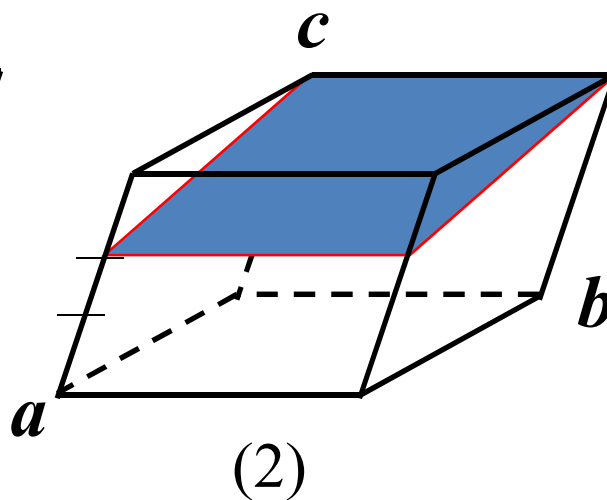
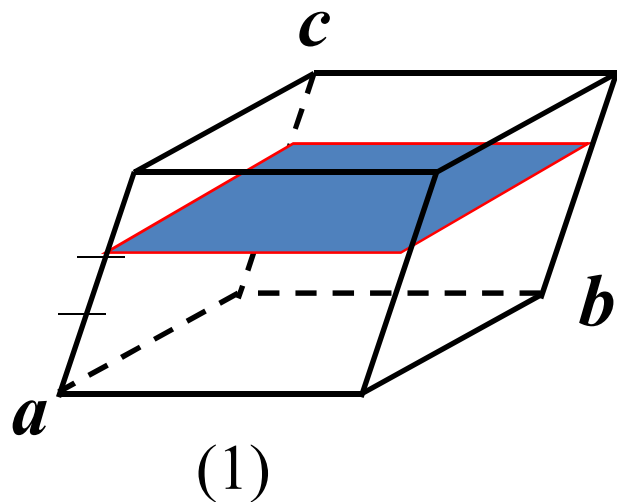


$a$	$b$	$c$
$1/2$	$1$	$1$
↓(逆数)		
$2$	$1$	$1$
↓(1倍)		
$(2$	$1$	$1)$

$a$	$b$	$c$
$3$	$2$	$1/2$
↓(逆数)		
$1/3$	$1/2$	$2$
↓(6倍)		
$(2$	$3$	$12)$

# 演習

問 次の面のミラー指数を求めよ。



解答例

(1) (003)

(2) (103)

(3)  $(22\bar{1})$

注意  
負の切片はバーをつける

# ブラベ (Bravais) 格子

## 空間的に許される格子の型 — ブラベ格子

ブラベ格子の基本形は4種類あるが、  
晶系を考慮すると全部で14種類ある

P格子:

単純格子 (primitive)

I格子:

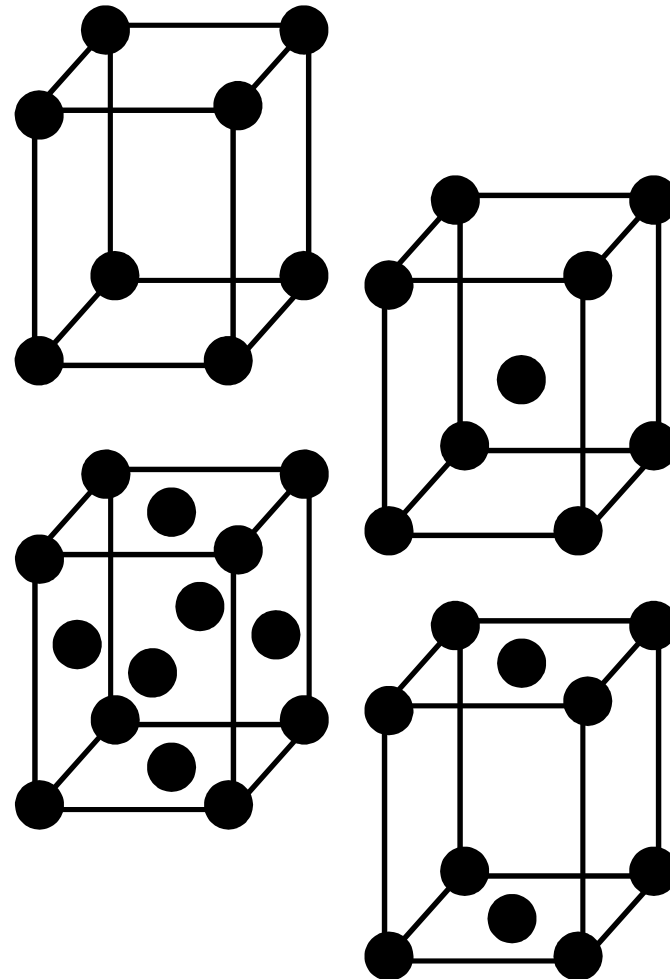
体心格子 (body-centered)

F格子:

面心格子 (face-centered)

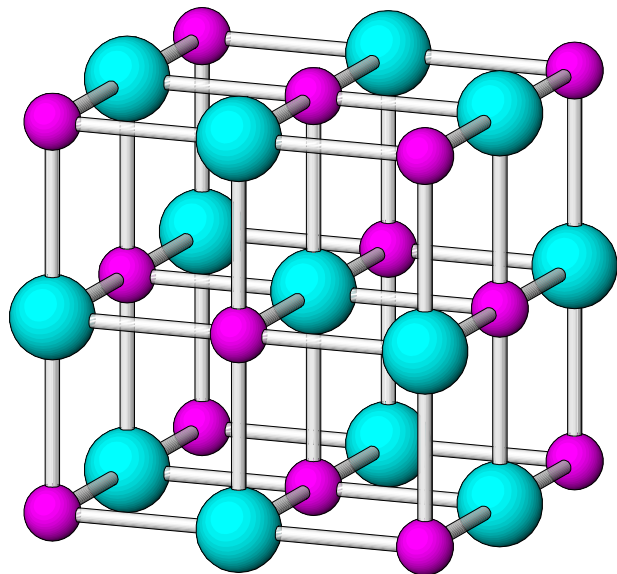
C格子:

底面心格子 (base-centered)

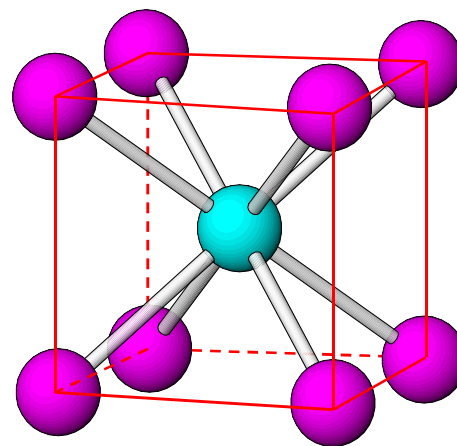


# 演習

問 次の結晶のブラベ格子は何か



(1) NaCl



(2) CsCl

解答例

(1) F格子

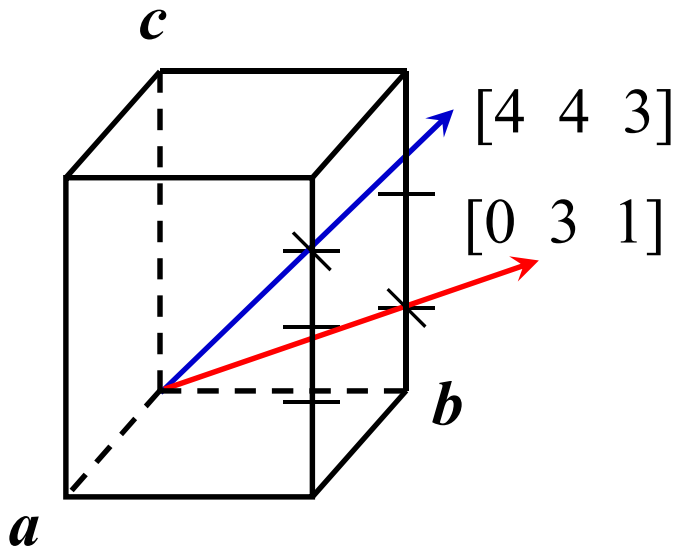
(2) P

# 格子点を作る面と方向

## 格子点の方向:

原点から目的の格子点までのベクトルの成分を[ ]に入れて示す。  
ただし、ベクトルの成分は、

結晶軸方向の成分同じ比をもつ最小の整数の組



## 格子点の方向の特徴:

1. 全ての晶系で、  
 $[100] \Leftrightarrow a$ 軸、 $[010] \Leftrightarrow b$ 軸、 $[001] \Leftrightarrow c$ 軸
2. 立方、正方、斜方晶系で、  
 $[hk0] // (00l)$ 面、 $[h0l] // (0k0)$ 面、 $[0kl] // (h00)$ 面
3. 立方晶系では、必ず  
 $[hkl] \perp (hkl)$ 面

# 原子座標

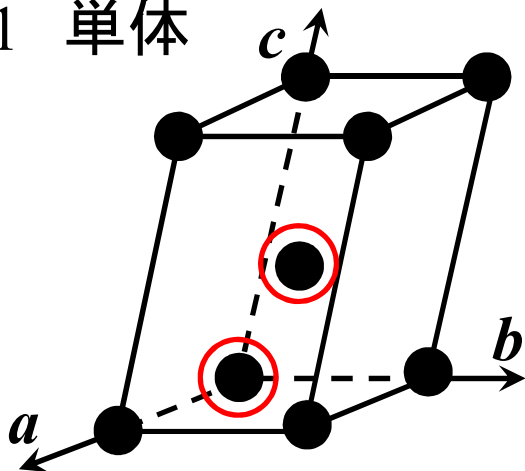
原子座標 (atomic coordinate) :

$a$ 、 $b$ 、 $c$ を単位として

$0 \leq (x, y, z) < 1$  ; 基本的に0以上で1未満

$Z$ 値 — 単位胞中の化学式の数

例1 単体



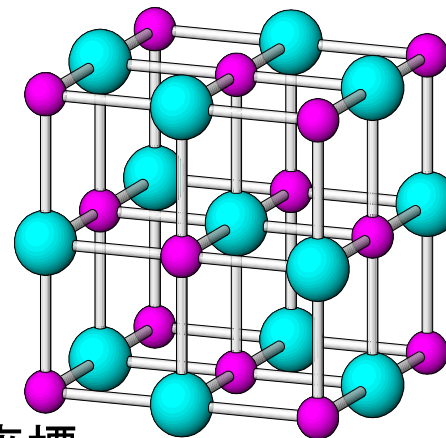
原子座標:

(0,0,0)

(1/2,1/2,1/2)

$Z=2$

例2 NaCl



原子座標:

Na:

(0,0,0)

(1/2,1/2,0)

(1/2,0,1/2)

(0,1/2,1/2)

$Z=4$

Cl:

(1/2,0,0)

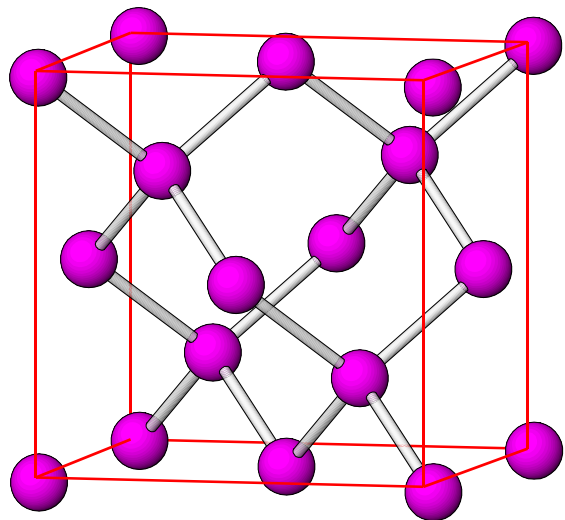
(0,1/2,0)

(0,0,1/2)

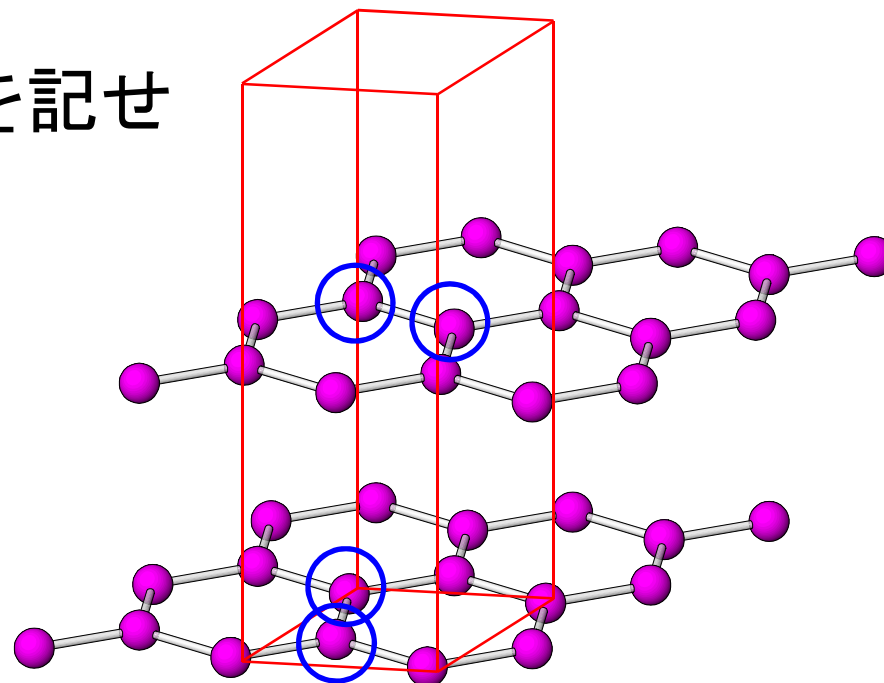
(1/2,1/2,1/2)

# 演習

問 次の結晶原子座標を記せ



(1) ダイヤモンド



(2) グラファイト

解答例

(1)  $(0,0,0), (1/2, 1/2, 0),$   
 $(1/2, 0, 1/2), (0, 1/2, 1/2),$   
 $(1/4, 1/4, 1/4), (3/4, 3/4, 1/4),$   
 $(1/4, 3/4, 3/4), (3/4, 1/4, 3/4)$

$Z=8$

(2)  $(0,0,0), (2/3, 1/3, 0),$   
 $(0,0, 1/2), (1/3, 2/3, 1/2)$   
 $Z=4$

# 演習

問 NaCl結晶の格子定数を $a(\text{\AA})$ 、Naの原子量を $M_{\text{Na}}$ 、Clの原子量を $M_{\text{Cl}}$ 、アボガドロ数を $N_A$ とすると、NaCl結晶の密度 $\rho(\text{gcm}^{-3})$ はどんな式で表すことができるか。

解答例

ヒント

密度 $\rho$

$$=(\text{質量}(\text{g})) / (\text{体積}(\text{cm}^3))$$

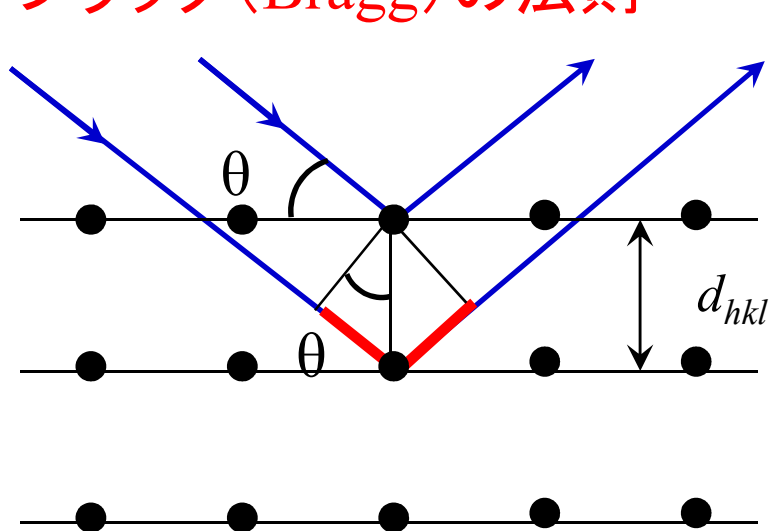


# 結晶によるX線の回折

回折 (diffraction) :

X線 (X-ray、電磁波) が多くの散乱中心 (原子、より厳密には電子) により散乱されて、その散乱されたX線が干渉して新たなX線を放出すること

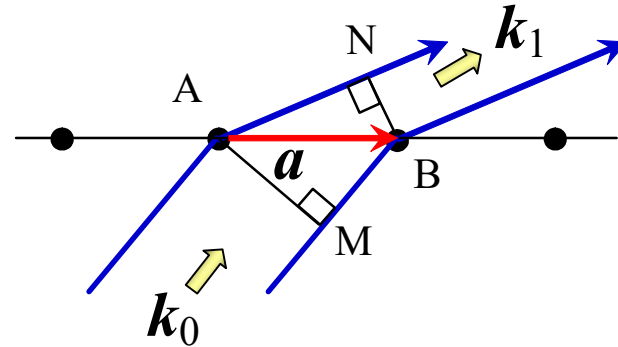
ブラッグ (Bragg) の法則



$$2d_{hkl} \sin \theta = n\lambda$$

$n$  は整数、通常は1  
 $\lambda$  はX線の波長

より  
 原理的に



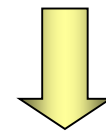
回折波が強め合う条件:

$$h\lambda = |\overrightarrow{AN}| - |\overrightarrow{BM}| = \mathbf{a} \cdot \frac{\mathbf{k}_1 \lambda}{2\pi} - \mathbf{a} \cdot \frac{\mathbf{k}_0 \lambda}{2\pi}$$

$$= \frac{\lambda}{2\pi} (\mathbf{a} \cdot \Delta \mathbf{k}) \quad (\because \Delta \mathbf{k} = \mathbf{k}_1 - \mathbf{k}_0)$$

$$\therefore \mathbf{a} \cdot \Delta \mathbf{k} = 2\pi h$$

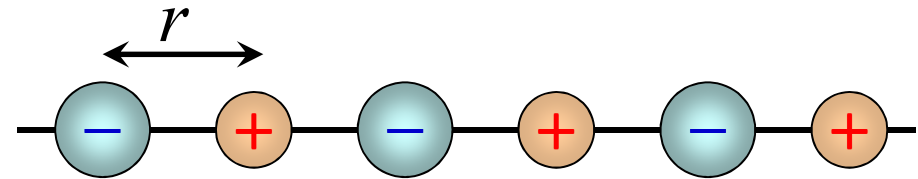
$\Delta \mathbf{k}$ : 散乱波数ベクトル



3次元に拡張

# 演習

問 下のように1価陽イオンと1価陰イオンが交互に距離  $r$  の間隔で並んだ1次元無限鎖結晶がある。波長  $\lambda$  のX線がこの鎖に垂直に入射するとき、鎖に対して  $\theta$  の角度でX線が回折する条件を求めよ。



解答例

# ラウエの条件

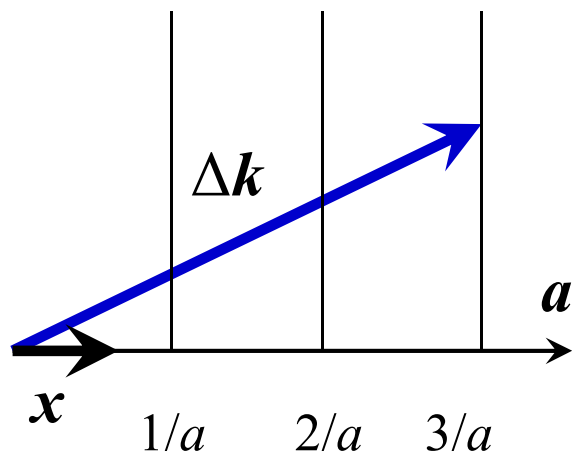
ブラッグの条件の三次元への一般化

$$\Delta k \cdot a = 2\pi h$$

$$\Delta k \cdot b = 2\pi k$$

$$\Delta k \cdot c = 2\pi l$$

ラウエの条件



意味:

$\Delta k$ の先端が $a$ 軸に垂直で間隔が $1/a$ である平面群の内どれかに乗っている

$$\Delta k \cdot x = \frac{2\pi}{a} h$$

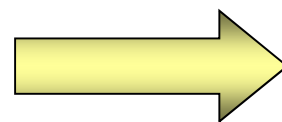
$$\Delta k \cdot y = \frac{2\pi}{b} k$$

$$\Delta k \cdot z = \frac{2\pi}{c} l$$

ただし、

$$a = ax, b = by, c = cz$$

( $\because x, y, z$ : unit vector)



3次元へ  
拡張、

3つの平面が交わる点の  
集合ができる



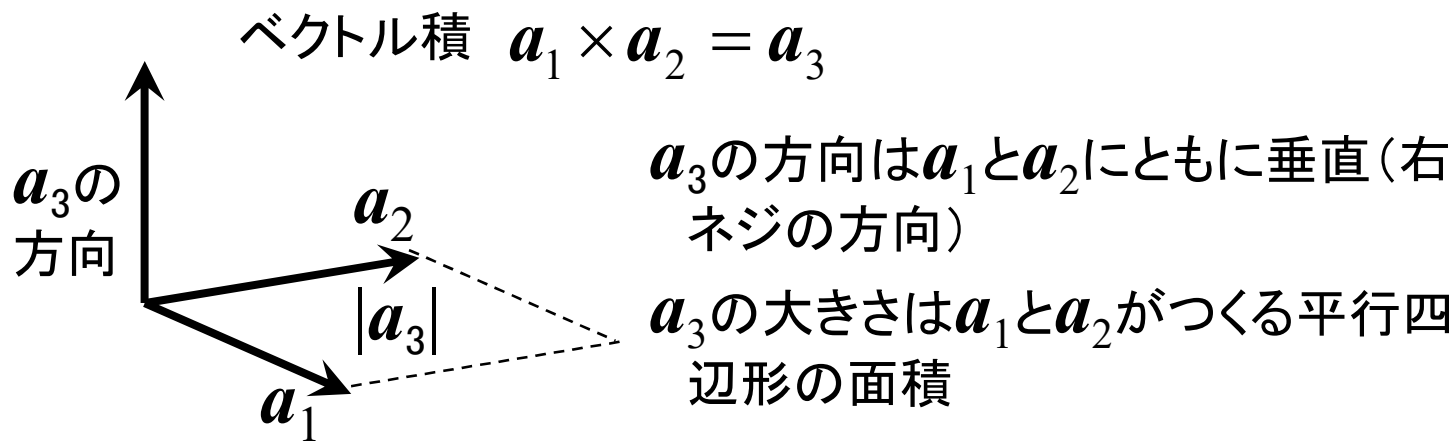
逆格子

# 逆格子 (reciprocal lattice)

逆格子の基本並進ベクトルの定義

$$\mathbf{a}^* = 2\pi \frac{\mathbf{b} \times \mathbf{c}}{(\mathbf{a}\mathbf{b}\mathbf{c})}, \quad \mathbf{b}^* = 2\pi \frac{\mathbf{c} \times \mathbf{a}}{(\mathbf{a}\mathbf{b}\mathbf{c})}, \quad \mathbf{c}^* = 2\pi \frac{\mathbf{a} \times \mathbf{b}}{(\mathbf{a}\mathbf{b}\mathbf{c})}$$

ただし、 $(\mathbf{a}\mathbf{b}\mathbf{c})$ はベクトル3重積で、単位胞の体積に等しい



定義より、

$$\begin{array}{lll} \mathbf{a} \cdot \mathbf{a}^* = 2\pi & \mathbf{a} \cdot \mathbf{b}^* = 0 & \mathbf{a} \cdot \mathbf{c}^* = 0 \\ \mathbf{b} \cdot \mathbf{a}^* = 0 & \mathbf{b} \cdot \mathbf{b}^* = 2\pi & \mathbf{b} \cdot \mathbf{c}^* = 0 \\ \mathbf{c} \cdot \mathbf{a}^* = 0 & \mathbf{c} \cdot \mathbf{b}^* = 0 & \mathbf{c} \cdot \mathbf{c}^* = 2\pi \end{array}$$

逆格子ベクトル  $H_{hkl}(\mathbf{r}^*)$

$\mathbf{a}^*$ 、 $\mathbf{b}^*$ 、 $\mathbf{c}^*$ で作られる空間において

$$H_{hkl} = h\mathbf{a}^* + k\mathbf{b}^* + l\mathbf{c}^*$$

で示されるベクトル